

中学公民	個人の尊重と日本国憲法③	年 組 番	1問 5点
人権と共生社会② これからの人権保障		名前	/100

①	参政权 さんせいけん	国民が（ ）に参加する権利
②	選挙権 せんきょけん	満（ ）歳以上の全ての国民に認められた、 国や都道府県、市町村などの代表者を選ぶ権利
③	被選挙権 ひせんきょけん	選挙に（ ）する権利
④	請願権 せいがんけん	国などに（ ）をする権利
⑤	裁判を受ける権利 さいばん うける けんり	誰もが（ ）による裁判を受けられる権利
⑥	国家賠償請求権 こっかばいしょうせいきゅうけん	国や地方の（ ）の不法行為で受けた損害に対して、 （ ）を求める権利
⑦	刑事補償請求権 けいじほしょうきゅうけん	裁判の（ ）判決に対し、（ ）に保障を求める権利
⑧	公共の福祉 こうきょう ふくし	（ ）全体の（ ）を意味する、人権の限界や制限
⑨	国民の義務 こく민 ぎむ	日本国憲法が定める、「子どもに（ ）を受けさせる 義務」・「（ ）の義務」・「（ ）の義務」の三つ
⑩	環境権 かんきょうけん	住みやすい（ ）を求める権利
⑪	環境アセスメント かんきょう	大規模な（ ）を行う場合に、 （ ）に環境への（ ）を調査すること
⑫	自己決定権 じ こ けつていけん	人間が、自分の生き方や生活の仕方について 自由に（ ）する権利
⑬	インフォームド・コンセント	自己決定権のひとつで、医師が患者に診療の目的や内容を 十分に（ ）し、患者の（ ）を得ること
⑭	知る権利 し けんり	国民が、国や地方の（ ）を手に入れる権利
⑮	情報公開制度 じょうほうこうかいせいど	国や地方が、人々の請求に応じて （ ）を（ ）する制度
⑯	プライバシーの権利 ぷらいバシーの けんり	（ ）に関する情報を（ ）されない権利
⑰	個人情報保護制度 こじんじょうほうほごせいど	国や地方、民間の情報管理者に、 （ ）を厳重に管理することを義務付けた制度
⑱	世界人権宣言 せかいじんけんせんげん	1948年に（ ）で採択された、 （ ）の尊重に関する宣言
⑲	国際人権規約 こくさいじんけんきやく	1966年に（ ）で採択された、 世界人権宣言に（ ）を持たせた条約
⑳	NGO(非政府組織) ひせいふそしき	国際的な人権保障を実現するため、 （ ）をこえて活動する（ ）の民間組織